

大阪府茨木工科高等学校 定時制の課程  
令和5年度 第2回学校運営協議会 記録

日 時	令和5年12月1日（金）14:00~15:25	
場 所	実習棟2階 会議室	
出席者	学校運営協議会委員（6名）	
	後援会会長	川口雅夫
	学校医兼産業医	田中孝二
	ユービック情報専門学校前校長	北村翼
	府立茨木工科高校（定）前准校長	小川寿之
	保護者	2名
	教職員（8名）	
	准 校 長	井上直人
	教 頭	林克佳
	首 席	播田晃久
	教 務 部	中村有佑
	生活指導部	井上寛一
	進路指導部	岩永満
	保健指導部	小池隆一
	書 記	小野花菜子

（以上全14名）

次第

1. 開会の挨拶（准校長 井上）

- ・定時制の再編成が進んでいる。本校もどうなるか未定ではあるが対応していきたい
- ・積極的に公務のICT化を進めている。授業についても同様にオンライン授業委員会を中心に一人一台端末を用いた授業や新しいプロジェクターの導入など積極的に行っている。

2. 座長挨拶（後援会会長 川口）

- ・後継者の不足、高齢化、また工業系の学校を卒業する生徒が少ないことも民間企業における大きな問題となっている。新しく就職を求める生徒らにとっては大きなチャンス、よりよい就職ができればと思っている。

3. 出席者紹介（教頭 林）

#### 4. 令和5年度 本校教育活動について協議

##### (1) 令和5年度学校経営計画及び学校評価 中期報告（准校長 井上）

- ・資料 pp.3-5 を参照
- ・学校経営計画にのっとり各分野での取り組み紹介
- ・大体の項目で達成に向かっていているように感じている

##### (2) 各分掌からの中期報告

###### 1) 教務部（主任 中村）

- ・資料 p.6-7 を参照
- ・退学数の内訳についての説明
- ・今年の1年生は成績不振生徒 1/3 以上欠席生徒の数が例年よりも多い印象を受ける

###### 2) 生活指導部（主任 井上）

- ・資料 p. 8 を参照
- ・スマートフォン指導は継続しているが、授業担当者により指導の差があり、徹底できていない
- ・一年生を中心に特別指導の数が例年に比べて多い。
- ・自動車部、写真部、軽音楽部、バスケットボール部の大会やショーに出展、出場している

###### 3) 進路指導部（主任 岩永）

- ・資料 p.9 を参照
- ・今年の就職状況について、就職先や就職未定者の状況説明

###### 4) 保健指導部（主任 小池）

- ・資料 p.10 を参照
- ・安全点検を2回行い、修理の必要なところは適宜対応している
- ・今年は現在のところインフルエンザで5名が出席停止

##### (3) いじめ等に関するアンケート 中期報告（主席 播田）

- ・資料 pp. 11-14 を参照
- ・一年生の回答率が低いことについて、担任による面談や家庭訪問を順次実施しているが、依然として出席していないためであり、いじめを理由にした欠席はではないと判断している。
- ・「とてもしんどい」と答えた生徒についての聞き取りを行ったところ、いじめや学校生活ではなく、家庭や停学前指導がしんどいとの回答が得られた
- ・第二回については、無記名が多く、なかなか聞き取りが進まなかった
- ・第三回では、個人の特定につなげるべく、メールアドレスの収集を行う予定

(4) 授業アンケート 中期報告 (教頭 林)

- ・資料 pp.15-16.を参照
- ・今年度から Google Form を利用した
- ・回答率は少し下がった
- ・ポイントが下降した項目はない
- ・先生方の授業に関する工夫や取り組みが実を結んでいるという印象

(5) その他

【質問】

「一年生に長欠生徒が多い状況について」

Q 一年生の欠席が多いのは単なる今年度の傾向なのか

A 仕事に集中し、学校が最優先になっていない生徒が多い。学校に目を向けてもらえるような指導をしていかなければならない。

Q 仕事が理由で学校に来れないと、一言に説明しても、実際は、仕事だけが理由ではなく、いろんな理由があると思う。家庭状況や勤務先の環境も含めて長欠生徒の背景も考える必要があるのではないか

Q 担任だけでなく、進路指導の先生や教員経験の長いベテランの先生方のサポートも必要になるのではないか

A 新任の先生がいきなり担任を持つことによる指導力不足や生徒理解力不足は、今後、学校の課題としていきたいところである

「いじめアンケートについて」

Q いじめアンケートについては、深掘しすぎないほうがいいのではないか

A いじめは早期発見・早期解決が大事なので、消極的ではなく積極的に把握するべきだと考えています、

Q 第1回に対応したことによって、第2回に答えられない生徒もいたのではないか

A 対応の仕方は慎重に、今後の対応に関しては再度検討したい

Q 質問項目が本人への問いのみになっている、「いじめを見かけた」などの第三者視点の問いも追加したほうがいいのでは。

A 質問項目は、府教育庁からすべての府立高校で共有である。自由記述のところに書いてくれるのを期待しているが、聞き方をもう少し検討したい。

Q いじめアンケートに関する報告について、「いじめと欠席との因果関係はない」と判断したのが「担任」であるとの表現は適切といえるか。

Q 教科担当とのトラブルは解決しているのか

A いまだ継続指導中である

5. 閉会の挨拶 (准校長 井上)

- ・工科高校、特に自動車を学べる学校としての強み、定時制としての強みを併せ持っているということを宣伝していく

6. 事務連絡（教頭 林）

- ・ 第三回学校運営協議会は2月2日（金）を予定している